

日本学術振興会 外国人研究者招へい事業 手引き(2024 年度募集分)

事業の概要

- ✓ 日本学術振興会では、科学研究費助成事業、研究者養成事業（特別研究員（DC/PD）等）等の事業に加えて、諸外国の優秀な研究者の招へいを目的とした外国人研究者招へい事業が実施されており、招へい目的及びキャリアステージに合わせた多様なプログラムが設定されています。
 - 制度概要（外国人招へい研究者） <https://www.jsps.go.jp/j-inv/gaiyou.html>
 - 制度概要（外国人特別研究員） <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/index.html>
 - パンフレット（2023 年度版） https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-inv/pamphlet/fellowship_2023_JP.pdf
- ✓ 各事業の詳細は、各年度の募集要項及び FAQ をご確認ください。
 - 令和 6（2024）年度 外国人研究者招へい事業 募集要項 https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-fellow/j-fellow_14/application_requirements/2024/2024_applicationguideline_j.pdf
 - 外国人研究者招へい事業 FAQ（令和 4 年 12 月） https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-fellow/faq/data/FAQ_j202212.pdf
- ✓ ご申請をお考えの場合は、事前に各キャンパスの担当部署までご連絡頂くとともに、学内締め切りまでにご申請手続きをお願い致します。
 - 【担当部署】
 - 青山キャンパス：研究推進部研究推進課（14 号館 2 階）
Mail: gks@aoyamagakuin.jp
 - 相模原キャンパス：相模原事務部研究推進課（B 棟 2 階）
Mail: kenkyuusien@aooyamagakuin.jp
- ✓ ご申請に際しては、以下の点にご注意ください。
 1. 申請は、所属機関を通じての申請となります（個別申請は受付されておりません）。
 2. 申請者は原則、「招へいする側の日本の研究者」となります（推薦による申請を除く）。申請をお考えの場合は、お早めに招へい予定の外国人研究者とご連絡・ご調整ください（外国人研究者の方から受入の打診を受けた場合でも、申請者は、日本側の研究者となります）。
 3. 受け入れ部局は、ご所属の学部・学科等となります。ご申請に際しては、事前に学部・学科等ともご調整ください。
- ✓ 近年の採用状況（申請数、採択率等）、採用者の一覧が以下の日本学術振興会のウェブサイトに掲載されています。学問分野ごとの申請状況も確認できますので、ご参照ください。
 - 採用状況 <https://www.jsps.go.jp/j-inv/adoption.html>
 - 採用者一覧 <https://www.jsps.go.jp/j-inv/adoptlist.html>

プログラム種別

- ✓ 招へいの目的に応じて、以下のプログラムが設定されています。各プログラムの詳細は、日本学術振興会 外国人研究者招へい事業のウェブサイトにてご確認ください。

○日本学術振興会 諸外国の優秀な研究者の招へい

https://www.jsps.go.jp/j-inv_researchers/index.html

プログラム	内容（採用期間）
外国人特別研究員 （欧米短期）	<p>【概要】博士号取得前後の優秀な欧米諸国の若手研究者に対し、比較的短期間、我が国の大学等研究機関において日本側受入研究者の指導のもとに共同して研究に従事する機会を提供する事業。</p> <p>【採用期間】1か月以上12か月以内（期間は1ヶ月単位）</p> <p>【申請方法】公募及び推薦</p>
外国人特別研究員 （一般）	<p>【概要】博士号取得直後の優秀な諸外国の若手研究者に対し、我が国の大学等研究機関において日本側受入研究者の指導のもとに共同して研究に従事する機会を提供するプログラム。</p> <p>【採用期間】12か月以上24か月以内（期間は1ヶ月単位）</p> <p>【申請方法】公募及び推薦</p>
外国人特別研究員 （サマープログラム）	<p>【概要】欧米主要国の博士号取得前後の研究者を、夏期2ヶ月間、我が国に招致し、我が国の文化や研究システムに関するオリエンテーションと日本側受入研究者の下での研究機会を提供するプログラム。</p> <p>【採用期間】夏期2か月</p> <p>【申請方法】推薦での受付のみ</p>
外国人招へい研究者 （短期）	<p>【概要】中堅から教授級の優秀な諸外国の研究者を短期間招へいし、我が国の研究者との討議・意見交換や講演等を通じて関係分野の研究の発展に寄与することを目的としたプログラム。</p> <p>【採用期間】14日以上60日以内</p> <p>【申請方法】公募</p>
外国人招へい研究者 （長期）	<p>【概要】中堅から教授級の優秀な諸外国の研究者を比較的長期間招へいし、我が国の研究者と共同研究を行う機会を提供するプログラム。</p> <p>【採用期間】2か月以上10か月以内（期間は1ヶ月単位）</p> <p>【申請方法】公募</p>

※推薦：招へいを希望する外国人研究者が対象国の推薦機関を通して申請

公募：日本側の受け入れ研究者が研究機関（本学）を通して、日本学術振興会に申請

<招へい研究者の要件について>

招へい研究者については、各プログラムで国籍、博士号を取得してからの年数、所属機関での職位等の要件があります。要件の詳細については、以下の日本学術振興会ウェブサイトにてご確認ください。

○外国人特別研究員 <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/index.html>

○外国人招へい研究者 <https://www.jsps.go.jp/j-inv/index.html>

<支給経費について>

招へい研究者には、以下の経費が日本学術振興会から支給されます

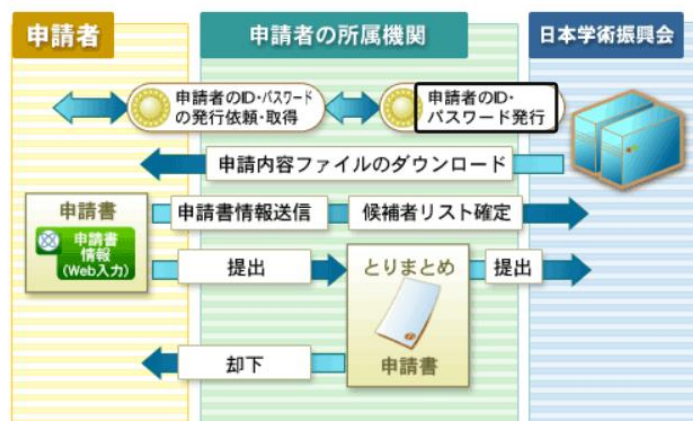
- (1) 渡航費 往復国際航空券（現物支給）
- (2) 滞在費（支給額は、プログラムによって異なります）
- (3) 渡日一時金（外国人特別研究員（欧米短期（採用期間が3カ月以上の場合）・一般）のみ）
- (4) 海外旅行保険

上記の経費に加えて、採用期間中の研究費として「調査研究費」（外国人招へい研究者（長期・短期）、外国人特別研究員（サマー・プログラム、欧米短期））、科学研究費（特別研究員奨励費）（外国人特別研究員一般のみ）への申請も可能です。詳細は、募集要項等をご確認ください。

申請手続き

- ✓ 申請手続きは日本学術振興会の国際交流事業用電子申請システムを通じて行われます（科研費や特別研究員の電子申請システムとは異なりますのでご注意ください）。
 - 日本学術振興会 国際交流事業の電子申請について
https://www-shinsei.jsps.go.jp/topkokusai/top_kokusai.html
- ✓ 申請に際しては、電子申請システムの ID/PW の発行が必要です。ID/PW は各所属キャンパスの担当部署にて発行致します（過去にご申請経験があり、すでに同システムの ID/PW をお持ちの方は、その ID/PW を引き続き使用可能です）。
 - 日本学術振興会 申請者の ID・パスワードの発行依頼、取得について
https://www-shinsei.jsps.go.jp/topkokusai/shinsei_top.html
- ✓ 申請書は、電子申請システムに直接入力する「Web 入力項目」と「申請内容ファイル」（Word ファイルで作成）からなります。申請書作成要領等を十分に確認し、招へい研究者と協力の上、申請書を作成してください。
 - 作成・記入要領（2024 年度申請書）外国人招へい研究者
https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-inv/application_requirements/2024/2024_instruction_j.pdf
 - 外国人特別研究員・一般/欧米短期 作成・記入要領（2024 年度申請書）
https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-fellow/j-fellow_14/application_requirements/2024/2024_instructions.pdf
- ✓ 作成・提出した申請書は、大学を通じて日本学術振興会に提出します（下記イメージ図参照）

- ✓ 各プログラムにて年に複数回の申請機会が設定されています。各回に学内締切を設定しておりますので、余裕をもって申請書を作成してください。
- ✓ 申請に際して、招へい研究者は、研究倫理教育を受講する必要があります。受講内容、方法については、申請の際に個別にご案内致します。



電子申請イメージ

(日本学術振興会ウェブサイト <https://www-shinsei.jsps.go.jp/topkokusai/flow2.html> より引用)

学内締切 (2024 年度募集分)

以下の締め切りまでに、申請書（初版）の電子申請システム上でのご提出をお願い致します。申請書は、担当部署にて確認を行い、適宜修正をお願いする場合がございます。確認・修正が完了した申請書は、各回の申請者全員分をまとめて日本学術振興会へ提出（申請）します。

外国人特別研究員（一般）

募集回	学内締切 (学振への送信期限)	結果通知 予定時期	来日（採用期間開始）時期
2024 年度 第 1 回	<u>2023 年 7 月 31 日 (月)</u> (2023 年 9 月 1 日 (金) 17:00)	2023 年 12 月下旬頃	2024 年 4 月 1 日～ 2024 年 9 月 30 日
2024 年度 第 2 回	<u>2024 年 4 月 3 日 (水)</u> (2024 年 4 月 26 日 (金) 17:00)	2024 年 8 月上旬頃	2024 年 9 月 1 日～ 2024 年 11 月 30 日

外国人特別研究員（欧米短期）

募集回	学内締切 (学振への送信期限)	結果通知 予定時期	来日（採用期間開始）時期
2024 年度 第 1 回	<u>2023 年 9 月 6 日 (水)</u> (2023 年 9 月 29 日 (金) 17:00)	2024 年 1 月上旬頃	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日
2024 年度 第 2 回	<u>2023 年 12 月 11 日 (月)</u> (2024 年 1 月 12 日 (金) 17:00)	2024 年 5 月中旬頃	2024 年 8 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日
2024 年度 第 3 回	<u>2024 年 5 月 15 日 (水)</u> (2024 年 6 月 7 日 (金) 17:00)	2024 年 9 月中旬頃	2024 年 1 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日

外国人招へい研究者（長期）

募集回	学内締切 (学振への送信期限)	結果通知 予定時期	来日（採用期間開始）時期
2024年度 第1回	<u>2023年7月31日（月）</u> (2023年9月1日（金）17:00)	2023年 12月下旬頃	2024年4月1日～ 2025年3月31日

外国人招へい研究者（短期）

募集回	学内締切 (学振への送信期限)	結果通知 予定時期	来日（採用期間開始）時期
2024年度 第1回	<u>2023年7月31日（月）</u> (2023年9月1日（金）17:00)	2023年 12月下旬頃	2024年4月1日～ 2025年3月31日
2024年度 第2回	<u>2024年4月3日（水）</u> (2024年4月26日（金）17:00)	2024年 8月上旬頃	2024年10月1日～ 2025年3月31日

<審査結果について>

審査結果は、電子申請システムを通じて開示されます。不採用だった場合は、申請におけるおおよその位置が開示されます。

不採用A = 申請した合議審査区分における不採用件数の上位 20%

不採用B = 申請した合議審査区分における不採用件数の上位 21～50%

不採用C = 申請した合議審査区分における不採用件数の上位 50%に至らなかった。

<選考方法について>

選考は、日本の学会の第一線の研究者で構成される国際事業委員会において、書面審査及び合議による審査により行われています。詳細は、以下の日本学術振興会のウェブサイトをご確認ください。

○日本学術振興会 外国人招へい研究者 選考方法 <https://www.jsps.go.jp/j-inv/senko.html>

<申請手続きにおける注意点>

- ✓ 採用期間は候補者（招へいする外国人研究者）が海外から日本の空港に到着した日が採用期間開始日、海外へ日本の空港を出発した日が採用期間終了日です（採用期間開始日以前又は採用期間終了日以降に日本に滞在する場合を除く）。
- ✓ 「来日時期」に採用を開始すれば、年度を跨ぐ採用期間の設定も可能です。
- ✓ 電子申請システムでの受付は、各募集回における「本会の申請受付期限」の約2か月前から開始します。

採用後の手続き

<日本学術振興会への手続きについて>

- ✓ 採用後の手続きの流れは大まかに以下のような手続きが必要になります。また、日本学術振興会に対する書類の提出、各種手続きは、大学を通して行います。

- ①採用通知及び受け入れの承諾
- ②受け入れ期間の調整
- ③査証等の発行
- ④滞在費、研究費などの申請、学内の受け入れ準備
- ⑤受け入れ開始～日本での研究の実施
- ⑥研究成果の報告

- ✓ 採用された場合は、各年度の「諸手続きの手引き」を参考に手続きを進めることとなります。

- 外国人特別研究員 諸手続きの手引き

https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/09_tebiki.html

- 外国人招へい研究者（長期、短期）

<https://www.jsps.go.jp/j-inv/tebiki.html>

※手続きの際は、必ず当該年度の最新版をご確認ください。

<査証等の発行、在留手続きについて>

- ✓ 日本での受け入れに際し、招へい研究者は、査証（ビザ）及び在留資格（短期滞在の場合は不要な場合もあり）が必要になります。必要な手続き、書類については、受入期間や招へい研究者が所属する国等によって異なります。招へい研究者と受入研究者は、必要な手続き、書類について、現地の大使館等に事前に確認をしてください。
- ✓ 査証（ビザ）、在留資格の申請に際して「在留資格認定証明書」が必要な場合は、大学にて作成が必要な書類がございますので、担当部署までご連絡ください。
- ✓ 招へい研究者の家族と一緒に来日する場合は、家族も査証（ビザ）、在留資格等が必要になります。個人で来日する場合よりも手続きに時間を要する場合がありますので、十分に余裕をもってお手続きください。
- ✓ 各手続きには1~3カ月程度要しますので、十分な余裕をもって手続きを進めて下さい。

<受入後の研究環境の整備について>

- ✓ 受入がまかりましたら、学内での研究場所（研究室等）のご準備もおすすめてください。場所の確保については、受入の学部・学科、施設課等とご調整をお願い致します。

<招へい研究者の住居について>

- ✓ 招へい研究者の住居については、ご自身で手配頂く必要があります。お早めにご準備頂くようお願いください。学内のゲストハウス（青山キャンパス）の利用を希望の方は、担当部署までご連絡ください（予約状況などにより利用できない場合もございます）。
- ✓ 「教授」「研究」「文化活動」「高度専門職 1 号イ」の在留資格にて滞在する招へい研究者は、日本学生支援機構が運営する「東京国際交流館」の入居を申請することも可能です。申請に際しては、大学からの推薦が必要ですので、ご希望の際は、担当部署までご連絡ください。
 - 留学生・研究者宿舎（東京国際交流館）
<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/tiec/residence/index.html>
 - 東京国際交流館 研究者（外国人・日本人）の入居者募集について（2023（令和 5）年度推薦方式）
<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/tiec/residence/bosyu/kenkyusha.html>

<その他、日本での生活について>

- ✓ 日本学術振興会のウェブサイトにて、長期に来日する外国人研究者のために、日本での生活に必要な情報をまとめたガイドブック及び過去の採択者の研究活動・日本での生活の経験談が公開されています。招へい研究者にも適宜ご案内下さい。
 - 来日外国人研究者のための生活ガイドブック（Research and Life in Japan by a JSPS Fellow）
https://www.jsps.go.jp/english/e-plaza/51_lifeInJapan.html